

公開保育

『遊びは学び』育ちの架け橋
～遊びの連続性から見えてくる発達を大切に～

2021.12.18 実践報告書

1. はじめに

我々幼児教育・保育施設の役割は、子どもたちの成長発達の次のステップへの架け橋となって一人一人の子どもたちを大切にしながら育てていくことだと考えております。

その思いを園に関わる様々なお立場の皆様と共有し、多くの皆様の温かいまなざしの下で子どもたちを育てていきたいと思い、公開保育を計画致しました。乳幼児期は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う大切な時期であることを第一義として、毎日の生活の中でくり広げられるドラマの中に見えてくる小さな発見や感動、そして成長・発達の姿の多様性をお感じ頂きたく、0歳～6歳までの全クラスをご覧頂くことに致しました。

今回の公開保育を通し、園のフィロソフィーを基に、保育への想いや考え方をスタッフ間で共有し、協働性・同僚性の高まりを実感することが出来ました。今後より一層子どもたちの為に学びを深め、保育の質の向上を目指して参りたいと思います。

2. 公開保育までの経過

(1) 園における実践

日常の保育の中で「子ども主体の協同的な学び」の深まりをねらいとした実践に着目し、経験を通して培われていく子どもの学びや育ちについて考察していく。

公開保育当日までのスケジュール

○各クラスにおける遊びから導き出されたテーマの設定（5月頃）

1回目 7月15日（木）

- ・公開保育に向けての役割とその担当者について
- ・日程の候補について
- ・全体テーマについて
- ・今後の進め方や準備についての確認
- ・カリキュラムやドキュメンテーション作成の進め方についての確認
- ・その他（コロナウィルス感染予防対策について）

2回目 保育カンファレンス（カンファレンス）6回

- ・園児の状況

- ・活動の状況
- ・子ども達の興味、関心
- ・保育教諭の思い、意図
- ・課題

構成メンバー

- ・園長
- ・教頭
- ・各クラスリーダー

7月31日(金) 8月4日(水) 8月11日(水)

- ・マインドマップやカリキュラムについて(全体的なこと)
- ・各クラスの様子とふりかえりをマインドマップにする

8月4日(水)

- ・各クラスのエピソード記録によるクラスの保育についてプレゼンテーション 経過発表

8月11日(水)

クラスの様子と予想される活動について

- ・写真を持ちより話し合う
 - 話し合い、検討、次の展開への意見交換をする
- 参加：園長、教頭、各クラスリーダー

8月17日(水)

クラスの様子と予想される活動について

- ・試した結果の反省会(各クラス指導案・全体風景の写真準備)
- 参加：園長、教頭、各クラスリーダー

8月25日(水)

クラスの様子と予想される活動について

- ・試した結果の反省会(各クラス指導案・全体風景の写真準備)
- 参加：園長、教頭、各クラスリーダー

新型コロナウイルス感染症拡大のため、延期。再度しきり直し。

10月25日(月)

研修「公開保育」参加

11月1日(月)

クラスの様子と予想される活動について

11月15日(月)

クラスの様子と予想される活動について

12月9日(木)

公開保育に向けての確認事項を話し合う

12月18日(土)

公開保育当日

発表における公開保育と講演

市内の学校関係者、幼児教育保育施設関係者、自治体関係者、地域有識者、法人理事等が参加。公開保育後には、振り返りと意見交換を行う協議会を行い、それらの実践を通しての子ども達の学びや育ちについて理解を深め、子ども主体の保育の振り返りに繋げていく。

講演では、聖和学園短期大学 保育学科 准教授 上村 裕樹 氏より『育ちの連続性を大切に考えるとは』をテーマに幼保小接続の意義・重要性についてお話を頂く。

(2) 発表クラスの活動のテーマとねらい及びアドバイザー

・0.1 歳児 すくすく組

テーマ『すくすくの音』

ねらい 0歳児 保育教諭や友達と一緒に音を感じ、遊ぶ楽しさを味わう。

1歳児 コーナー遊びを通して、友達とかかわりを持って遊ぶ。

・2 歳児 らんらん組

テーマ『らんらんの色』

ねらい 色の違いを発見しながら楽しむ。

・3 歳児 にこにこ組

テーマ『にこにこの町』

ねらい イメージを持って遊ぶ楽しさを知る。

・4 歳児 わくわく組

テーマ『わくわくの森』

ねらい 様々な素材に触れながら、工夫して遊ぶ。

・5 歳児 ぐんぐん組

テーマ『ぐんぐんの軒』

ねらい 友達と考えを出し合い、1つのテーマに向かって協働することを楽しむ。

・アドバイザー 聖和学園短期大学 保育学科 准教授 上村 裕樹 氏

3. 各クラス発表における実施概要

(1) 公開保育実施日 令和3年12月18日(土)

社会福祉法人みつは会 認定こども園 みどりのかぜエデュカーレ

9:30 ~ 10:10 公開保育(フリー参観)

10:15 ~ 公開保育の概要説明と研究協議

11:20 ~ 講演 「育ちの連続性を大切に考えるとは」

12:20 閉会

(2) 発表クラス・担当保育者

0 . 1 歳児クラス	担当
2 歳児クラス	担当
3 歳児クラス	担当
4 歳児クラス	担当
5 歳児クラス	担当

(3) 公開保育参加人数

小中学校関係者	...	8 名	
教育委員会関係者	...	5 名	
こども未来課	...	1 名	
法人理事	...	3 名	
幼児教育・保育施設関係者	...	15 名	
保育教材取り扱い業者関係	...	2 名	合計 34 名

4 . 公開保育・研究協議・講話を終えて

(1) 参加者からの感想・意見

- ・はさみや道具の扱いが上手なのでびっくりしました。活動にひたっている姿はいいなぁと思いました。
- ・子どもたちがこんなに自立しているとは！！と驚きました。今日は大変勉強になりました。また来たいです！
- ・とても勉強になりました。地域の小学校に入学する子どもたちが多いいと思います。さらに連携をすすめ、一人ひとりが育つように勉強して参ります。
- ・ぜひ小学校教員に見せたかったなぁと思う内容でした。ありがとうございました。
- ・園児たちの生き生きした姿を見ることができてとてもうれしかったです。自分たちも生きる力が湧いてくるような気持ちになりました。先生方も今日の研究会に向けて大変だったと思います。
- ・今回の研究会と講演を受け、自分の学校のスタートカリキュラムの見直しに取り組みます。
- ・先生方の元気が子どもの笑顔へと帰結していました。又、安心感が園全体を包んでいたと感じました。
- ・子どもが集中して取り組んでいた。子どもの意欲を高めるための指導がしっかりなされている結果だと思いました。
- ・床の上で2~3人で同じ段ボールをハサミで切っていた。(様々な方向から)その周りを動き回る子ども達。ハサミを持ちながら歩き回る子。それに担任は気付いていないようでした。刃の方が子ども(人)に向いている状態でした。これでハサミのルールが定着しているとは思えない状況でした。安全面が気になりました。
- ・小学校低学年は生活科中心でということがよく理解できた。小学校の先生方にも是非参観していただきたく、そのような取り組みを委員会として推進していきたい。
- ・子どもの育ちが0 . 1 歳児~年長児までの子どもたちの姿からとても大事であると改めて思いました。新型コロナが心配される中今日の公開保育お疲れ様でした。子どもはあそびを通して、その学びの「生きる土台」と思っています。
- ・子どもたちが楽しそうでとても良かったです。
- ・今日の公開保育に参加させて頂き各学年、年齢の発達段階、そこを理解し保育者の対応、遊びの発展を学ばせて頂いた。そしてこれまでの過程の記録をみた上での本日の子どもたちの様子を見ることが出来、見させて頂く目線やポイントをおさえることが出来、発達の連続性を感じました。本日は沢山学ばせて頂きましてありがとうございました。何より子どもたち一人ひとりが楽しそうに興味をもって遊びに向

かっていて素敵でした。

- ・子どもたちの興味をそそるおもちゃを手作りで準備をたくさんして、STAFFの子ども達への愛を感じました。子ども達も気持ちをしっかり受け止めてもらっていて、落ち着いて生活している姿が見られました。
- ・子ども達1人1人のやりたいことにこたえながら、見守り楽しんでいてすごくお勉強になりました。廃材遊びなど何か加工したりしてやらなければならないのかなと思っていたのですが、そのままで十分楽しむ姿に驚きました。
- ・子どもとのやりとりがとても自然で、一緒に考え保育を作り上げている様子を見させていただきました。
- ・資料から本日の保育、すべてにおいて子ども達と先生方の深い関わりが見られ、素晴らしかったです。
- ・環境設定について自分なりに課題として過ごしていたので、材料等の置き場等、勉強になりました。先生方のアイデアも素晴らしかったです。
- ・子どもたちはもちろんですが、先生方も楽しんでいる雰囲気がステキでした。
- ・0・1歳児の活動がすごく楽しみました。子ども達の表情が「すごく楽しい！」をものがたっていたように感じます。
- ・たくさんのことを学ぶことができました。ありがとうございました。
- ・自分の保育にはないものをたくさん見つけることが出来ました。子ども達も先生たちも笑顔だったのが楽しかったです。

(2) 公開保育各担任から

<0・1歳児クラス>

公開保育を通して環境設定や子どもの成長に合った遊びを見直すことが出来ました。今後は、連続性のある遊びを取り入れ、子どもたちの遊びの幅を広げられるような関わり方や声のかけ方を学んでいきたいと思います。そして、もっと手作りおもちゃを用意したり、自然や普段の生活の中で、目や耳などの五感を通して、今の成長に大切な色々な音を感じてほしいと思いました。

<2歳児クラス>

今回のことを踏まえ、さらに子ども達がどんなことに興味を持つのか、のびのびと活動できるのか考えながら環境を設定していきたいと思います。公開保育で行った色探しゲームに大喜びだったので、数種の色が混ざった物をいれてみたり、身の回りのものを使用するなど、遊びが発展する工夫してみたいと思います。そして、子ども達の発見やつぶやき、ひらめきにアンテナを向けられるよう担任間で日々の伝え合いを大事にし、話し合っていきたいと思いました。

<3歳児クラス>

公開保育を見に来て下さった方からの声に『異年齢の縦のつながりが見たい。』という意見をいただき、早速次の日、隣のクラスの標識博士と一緒に遊ぶと、標識博士が描いていた数々の標識を「みたことある。」などと言いながら、興味津々だったので子ども達でした。今後は『縦とのつながり』も大事にし、子どもたちのつぶやきや気づきから、子ども同士が楽しい気持ちを共有し、遊びこめる環境を整えていけるように取り組んでいきたいと思っています。これからもっと遊びの幅が広がり、園全体で遊べるエデュカーレの街が出来ると良いなと思いました。

<4歳児クラス>

今回の公開保育を通して、子どもの興味・関心がどう遊びに発展するのか、どのように継続されて

いくのかということ、子どもの姿やつぶやきから学ぶことができました。今後の課題と展望として、子どもの興味や関心がどこにあるかを見極めて、素材を準備したり、環境の設定や遊びの仕掛けをすることが重要だと感じました。子ども達のつぶやきの中にヒントがいっぱいあるので、耳と心を研ぎ澄ませて子どもたちと関わり、色々なことを一緒に経験していきたいと思いました。

< 5歳児クラス >

他学年のお友だちや職員を招待し、お店やさんごっこをしました。作ったものを嬉しそうに見せている子どもたちの様子から充実感を感じとることが出来ました。お洋服屋さんからは「今度ファッションショーをしてみたい。」などという声も聞こえ、遊びの展開にどんどん夢が膨らみました。一方、はさみの使い方など安全面での配慮や環境設定の見直しなど課題も見えたので、子どもの安全を第一に考えるのはもちろんのこと、その中で伸び伸び楽しく遊びこめる環境作りを心掛けたいと思いました。

5. まとめと今後の課題

< 全体を通して >

公開保育に向けてのカンファレンスの中で、子ども達一人ひとりの人的環境としての「思い」を保育者がどのように大切に受け止め、応答的に関わり、次の活動へと発展させていくのか、というテーマが浮き彫りになりました。子どもの遊びや経験を肯定的に言語化したり可視化していくことの積み重ねにより、子ども達の次の活動が広がっていくということを感じ、保育者の役割の重要性を感じました。これまで以上に、保育者一人ひとりが、全体と個をしっかりと把握し、子どもの経験やそれぞれの思いを読み取り、それを次の活動につなげることに着目していけるよう、学びを深めていくことが必要だと感じました。

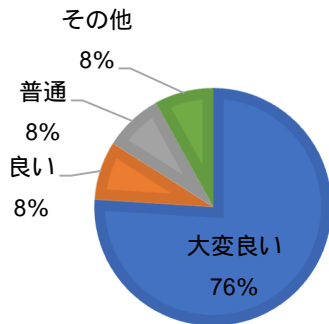
今後も「子どもの行動やしぐさには大切な意味が込められている」ことを踏まえ、子どものありのままを受け入れながら、驚きや喜びを共有し、遊びを生み出すことの楽しさが存分に味わえる、子ども主体の保育活動を園全体で展開していきたいと思いました。

令和3年度 公開保育 評価表
 社会福祉法人みつは会 認定こども園みどりのかぜエデュカーレ

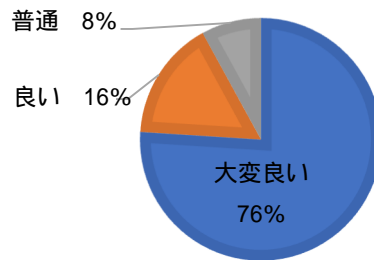
評価段階 5...大変良い 4...良い 3...普通 2...一部検討を要する 1...改善を要する

項目	評価					
	5	4	3	2	1	その他
1 これまでの活動と本日の活動の継続性は感じられましたか。	19	2	2			2
2 保育者の関わり・援助は、子どもの活動に合っていましたか。	19	4	2			
3 園児は、主体性を持って取り組んでいましたか。	21	3				1
4 園児は、友達と楽しんで生活していましたか。	23	2				
5 園児は、保育者の話すことを理解していましたか。	12	8	3			2
6 園児は、保育者の話を理解し、自ら行動できましたか。	18	5				2
7 時間配分は、適切でしたか。	17	5	2			1
8 危険のないように安全面を配慮していましたか。	15	7		3		
9 保育者の園児に対する態度や言葉遣いは適切でしたか。	20	3	2			
10 子どもの気持ちがテーマに向かうように援助していましたか。	19	4	1			1
11 子どもの個人差を把握、配慮していましたか。	18	3	3			1
12 教室は、保育・教育しやすい環境にっていましたか。	20	5				

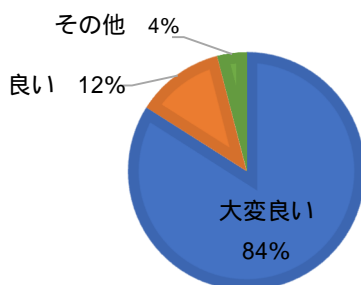
1 これまでの活動と本日の活動の継続性は感じられましたか。



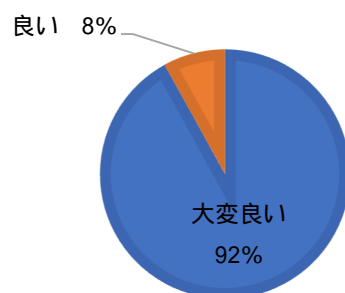
2 保育者の関わり・援助は、子どもの活動に合っていましたか。



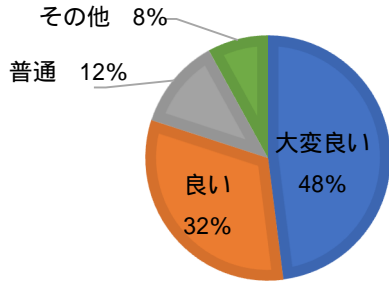
3 園児は、主体性を持って取り組んでいましたか。



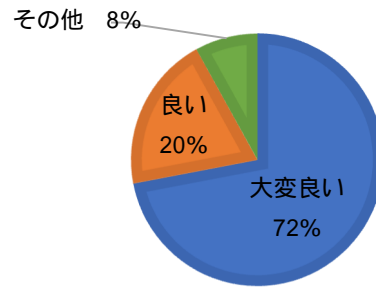
4 園児は、友達と楽しんで生活していましたか。



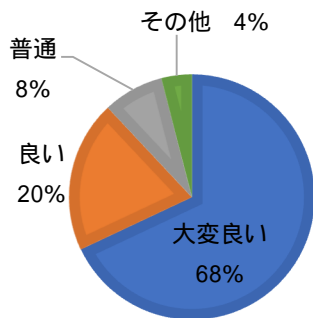
5 園児は、保育者の話すことを理解していましたか。



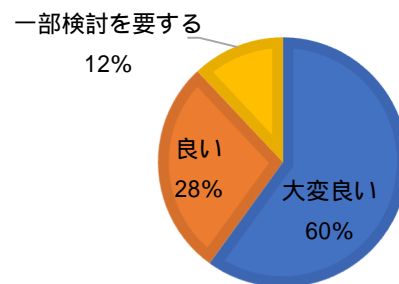
6 園児は、保育者の話を理解し、自ら行動できましたか。



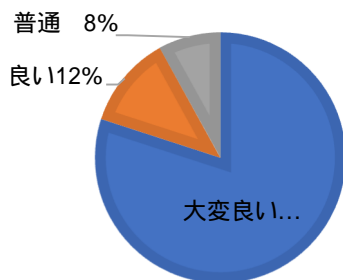
7 時間配分は、適切でしたか。



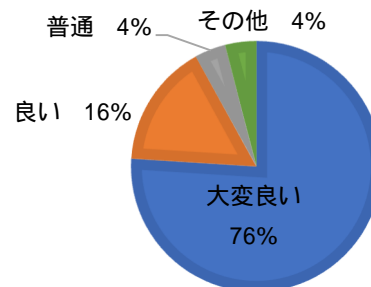
8 危険のないように安全面を配慮していましたか。



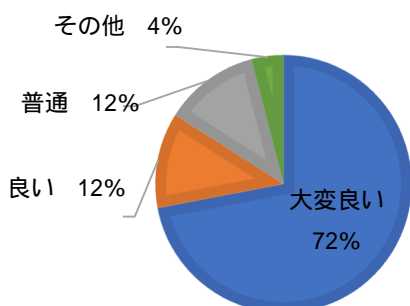
9 保育者の園児に対する態度や言葉遣いは適切でしたか。



10 子どもの気持ちがテーマに向かうように援助していましたか。



11 子どもの個人差を把握、配慮していましたか。



12 教室は、保育・教育しやすい環境にっていましたか。

